

はじめに

代表理事ご挨拶

昨今、グローバル社会で活躍できる人財の育成が求められています。社会問題に対する関心や知識、多角的な考え方、コミュニケーション力など世界に貢献できる国際的な素養を身につけ、国際社会でのアクティブな活動を促すことは重要と言えます。

パラメンタリーディベートでは、英語での発信力のもとより、**論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力**など複数のスキルを効果的に鍛えることができます。グローバル社会で必要なスキルを鍛える一手法として、パラメンタリーディベートをより一層推進させるため、この度、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (Parliamentary Debate Personnel Development Association, PDA) を設立いたしました。

これまで、教育現場や社会におけるパラメンタリーディベートの導入・普及活動に取り組んでまいりました。今後、PDAを通し、より多くの方々にパラメンタリーディベートの魅力をお伝えしていきたいと考えております。PDAの活動がグローバル人財育成の一助となりますよう努める所存です。

代表理事 中川 智 皓 博士(工学)

事業

ディベート推進活動

文科省事業	国際交流
●授業 ●教員研修	●オンライン ディベート交流会
研究	能力認定
●評価 ●AIディベートシステム	●パラメンタリー ディベート検定® (PD検定)

ご支援

全国高等学校長協会

PDAの即興型英語ディベートの活動は、長年、全国高等学校長協会はじめ、多くの校長先生方にご理解・ご支援いただいています。



第5回 PDA高校生即興型英語ディベート全国大会
(5周年記念事業) 全国高等学校校長 情報交流会

アドバイザー

産学のグローバル人財より、応援頂いています。



志賀 俊之

株式会社INCJ(旧産業革新機構)
代表取締役会長CEO



宮本 久也

全国高等学校長協会事務局長
三菱みらい育成財団アドバイザーボード委員
東京大学先端科学技術研究センターAEO アドバイザー
元 全国高等学校長協会会長
元 文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会委員



鈴木 茂男

元 日本興業銀行
国際金融オフィサー
一般社団法人日本英語交流連盟
常務理事



村上 憲郎

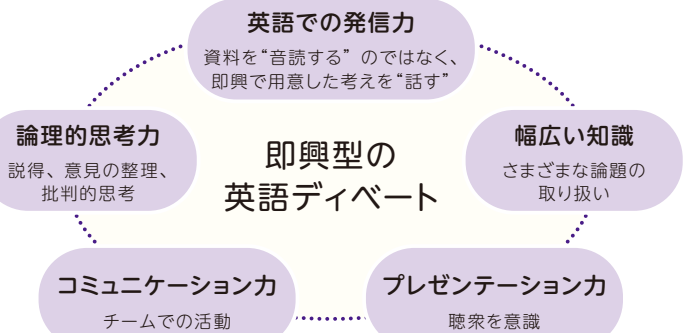
前 Google 日本法人名誉会長
元 Google 米日本本社副社長
兼 Google 日本法人代表取締役
株式会社エナリス 代表取締役会長
村上憲郎事務所 代表

ディベートを通じて身につく力

4技能

+

内容を鍛える効果的な アクティブラーニング



大会・イベントの実施

全国大会(高校生・中学生)

全国から集まった参加者が様々なテーマでディベートを行い、競い合います。論題に関連して、その分野の専門家によるキーノートレクチャーもあり、論題について理解を深めます。



夏合宿(生徒・教員)

生徒は練習ラウンド後、予選・本選ディベートに挑戦します。教員は他校教員とのディベートや生徒のジャッジを行います。教員向けに認定教育ジャッジを目指すコースもあります。



世界交流大会

日本の高校(全国大会の上位校と授業導入優秀校など)と、世界10カ国以上の高校生と一緒にディベートします。カルチャーナイト(文化交流会)を通して交流も深めます。



教員向けワークショップ

実際にディベートとジャッジの実践を行い、授業での指導に活かすことができるディベートの知識と経験を培うことができます。実践前には関連したレクチャーも行われます。



キーノートディベート®

即興型英語ディベートの実践後、そのテーマに関わる内容を専門家(キーノートスピーカー)から解説していただくことで、テーマへの理解を深めることができる一般向けのイベントです。



上記大会やイベントの他にも
当協会では、様々なイベントを開催しています。

PDA会員募集のご案内

読み書きそろばんと同じように、パラメンタリーディベートが学習手法の一つとして受け入れられる社会になることをめざし、一歩ずつ活動を始めています。

会員種別(対象)	特 典
個人会員 (大学生以上)	◆情報提供 ◆PDAメルマガの配信 ◆個人向けイベントの会員料金の適用、優先枠の確保
学校会員 (小・中・高等学校※)	◆情報提供 ◆PDAメルマガの配信 ◆学校会員対象イベントの会員料金の適用、優先枠の確保 ◆遠隔ディベート(PDA 大練習会)
法人会員 (一般企業及び類似団体)	◆法人向けイベント(法人向け研修等)の会員料金の適用

※大学以上は、個人単位で個人会員としてお申込みください。

これまでの学校会員

岩手県立一関第一高等学校、茨城県立竹園高等学校、栃木県立宇都宮女子高等学校、群馬県立前橋高等学校、埼玉県立浦和高等学校、東京都立小石川中等教育学校、豊島岡女子学園中学高等学校、渋谷教育学園渋谷中学高等学校、筑波大学附属駒場中・高等学校、武蔵高等学校中学校、神奈川県立湘南高等学校、聖光学院高等学校、慶應義塾高等学校、浅野学園中学高等学校、栄光学園中学高等学校、洗足学園中学高等学校、福井県立藤島高等学校、長野県長野高等学校、岐阜県立岐阜高等学校、大阪府立北野高等学校、島根県立松江北高等学校、山口県立山口高等学校 他



一般社団法人
パラメンタリーディベート人財育成協会
(Parliamentary Debate Personnel Development Association【略称:PDA】)
Tel 072-254-9220 Fax 072-254-9904 E-mail contact@pdpda.org



グローバル社会で貢献できる人財の育成に寄与する

パラメンタリーディベートについて



グローバル人財教育のための即興型英語ディベート

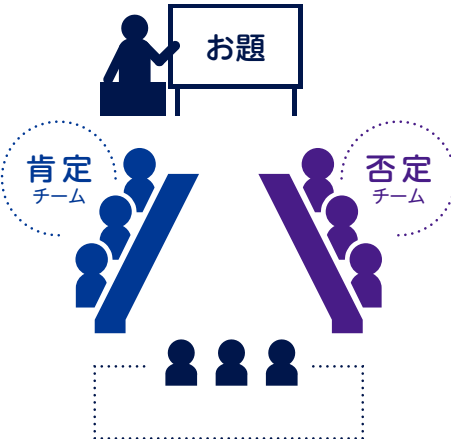
パラメンタリーディベートとは、一つの論題に対し、肯定と否定チームに分かれ、各々のチームが第三者を説得させる**パブリックスピーチ型のディベート**です。論題は、教育、社会、政治、倫理、環境、国際問題など多岐にわたります。

論題が発表されてから、15分程度の短い準備時間の後、ディベートを開始します。ディベートをする者は、肯定か否定チームのいずれに属するかを自ら選ぶことはできず、自身の意見とは異なる観点からの主張も考えなければならないことがあります。

世界では、教育現場にてパラメンタリーディベートが広く導入されています。ブレア元英首相など政治家をはじめ、パラメンタリーディベートの経験を活かし、多くの人々がグローバルに活躍されています。

ディベートの流れ

50分の授業で完結！



授業に必要な資料はこれ一式！



学校教育活動

パラメントディベートを通じ、良質な学習環境を創出する。

これまで1,000校以上に紹介しています！

当協会ではパラメンタリーディベートに関して様々なイベントや教育プログラムを展開することで、未来を担う生徒たちに対し、良質な学習環境を提供しています。

体験会

学校授業にて導入可能な**50分で完結できる即興型英語ディベート**の紹介をしています。生徒一人ひとりがディベート実践をしながらディベートの基礎を学びます。経験豊富な専門スタッフが指導します。

タイムスケジュール例

時間	内容
13:00	ルール説明、論題発表
13:05	ディベート準備
13:20	ディベート実践
13:40	ジャッジ
13:50	終了



地域交流大会

各地域の学校を一同に集め、即興型英語ディベートの交流大会を開催しています。大会当日はそれぞれの学校の代表チームが集い、他校の生徒たちと交流試合を行います。地域交流大会を通して学校の枠を超えた熱い意見交換ができます。

タイムスケジュール例

時間	内容
13:00	開会式(挨拶、ルール諸注意)
13:15	論題発表1、ラウンド1
14:25	論題発表2、ラウンド2
15:35	エキシビション出場者の発表、論題発表、準備
15:55	エキシビションディベート
16:15	投票、休憩
16:30	表彰式、閉会式、アンケート
17:00	終了



体験会実績

札幌南高校、青森高校、山形東高校、日比谷高校、湘南高校、県立浦和高校、岐阜高校、静岡高校、四日市高校、膳所高校、奈良高校、堀川高校、北野高校、神戸高校、高松高校、松山東高校など1000校以上(中学校・高校・教員研修含む)
東京都立富士中学校、八代中学校、宇土中学校、玉名中学校など、中学での体験会も増えてきています。

地域交流大会実績

北海道交流大会、青森県交流大会、岩手県交流大会、首都圏交流大会、東海交流大会、関西交流大会、中四国交流大会、熊本県交流大会、沖縄県交流大会、東京都中高一貫中学校交流大会など

研修

生徒向け研修実績

即興型英語ディベートの生徒向け研修を行っています。**ご希望に応じカスタマイズ可能**です。年間複数回に渡るプログラムの実施も可能です。原則、オンラインでの指導となります。



1学年全クラスを対象とした一斉指導も可能です。

教員向け研修実績

即興型英語ディベートの教員向け研修のプログラムでは**集中型**と**単発型**を用意しております。

企業研修(トライアル含む)

大阪ガス、シャープ、大成建設、日産自動車 他

大学での講義

奈良県立医科大学、京都大学 他

体験会実績

雲雀丘学園高校
岐阜県立斐太高校
福岡県立城南高校
ほか多数

地域交流大会実績

青森県高英校、秋田県教育委員会、岩手県高英校、栃木県総合教育センター、群馬県教育委員会、山梨県教育委員会、千葉県教育委員会、神奈川県教育委員会、埼玉県高英校、長野県高文連英語専門部、新潟県教育委員会、岐阜県公立高校、三重県教育委員会、滋賀県公立高校、京都府総合教育センター、大阪府教育委員会、和歌山県教育委員会、奈良県公立高校、兵庫県教育委員会、鳥取県教育委員会、広島県公立高校、山口県教育委員会、徳島県教育委員会、福岡県教育センター、熊本県教育委員会、宮崎県教育委員会、鹿児島県高英校、沖縄県教育委員会 ほか多数

PDA 認定教育ジャッジ

即興型英語ディベートの教育的な指導ができる認定ジャッジ

2017年度文部科学省委託事業から本格実施

PDA認定教育ジャッジとは、主に中学・高等学校の授業で**即興型英語ディベートの教育的な指導ができる認定ジャッジ**のことです。単にディベートが上手い人ではなく、教育的配慮をもって生徒の学びやモチベーションを高められるジャッジができる人財のため、PDA認定“教育”ジャッジと名付けられています。ここで取り扱う「即興型英語ディベート」は、50分の授業で完結するフォーマットです。6年以上の文部科学省事業での取り扱い実績のあるディベートシステムで、課外活動等の一部の生徒が取り組むものではなく、授業の中で一般の生徒が十分取り組める仕組みであることが実証されています。PDAは、授業や公式大会においてジャッジが求められる際、認定を受けた教育ジャッジを推薦します。



試験内容(オンライン)

試験は、筆記、ディベート実技、ジャッジ実技で構成され、すべての試験に合格後、PDA認定教育ジャッジとなります。一度合格された科目(筆記、ディベート実技、ジャッジ実技)について、再試験はございません。

採点項目

筆記試験	◆ルール ◆ジャッジとしての心構え等
ディベート	◆基本的な構成のスピーチができる ◆タイムマネジメントができる ◆POIを1回以上出せる ◆POIを1回以上受け、適切な返答ができる ◆アイコンタクトがある。(スピーチ時間の50%以上) ◆説明において大きな論理の飛躍が見られない
ジャッジ	◆司会進行ができる ◆授業時間を考慮したタイムマネジメントができる ◆勝敗を出せる ◆論理的にある程度納得できる勝敗の理由を述べられる ◆建設的な個人コメントを述べられる ◆教育的配慮に欠けない



筆記



ディベート実技



ジャッジ実技

PDA認定教育ジャッジ資格取得に向けた教員研修も実施しています

お問い合わせはこちら contact@pdpda.org

パラメンタリーディベート検定®(PD検定®)



<https://kentei.pdpda.org/>

パラメンタリーディベート検定®(PD検定®)とは、英語での論理的表現力を測る試験です。昨今は、新しい時代に必要な力として、文部科学省の新しい学習指導要領にも記載の通り、英語力のみならず、思考力・判断力・表現力を鍛えることが求められています。PD検定®では、**英語で即興でディベートを実践することを通し、「英語で議論する力」**が身につく問題設計をしています。